

二〇二五年度大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名: 専門科目)

2025年2月22日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

◎設問は(一)と(二)があります。両問とも解答しなければなりません。解答はすべて解答用紙に書きなさい。

【一】左の【A】～【D】から問題を一つ選んで解答しなさい。ただし、あなたの研究分野が古典文学の場合は【A】を、近代文学の場合は【B】を、情報出版学の場合は【C】を、日本語学の場合は【D】を、かならず選択しなければなりません。

【A】左の【I】と【II】の文書は、短編物語「このついで」の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(和泉式部続集)

- 問一 二重傍線部①「めぐらしく」、④「ものはかなげに」、⑦「ながめ」の意味をそれぞれ答えなさい。
- 問二 傍線部①「ならひにければ」と傍線部②「いと心苦しげに見送りて」の主語をそれぞれ答えなさい。
- 問三 傍線部③の和歌に用いられている修辞技法について、具体的に説明しなさい。
- 問四 傍線部④「居られにし」の文法的説明をしなさい。
- 問五 【I】のあらすじを説明しなさい。
- 問六 【II】の影印部分(和歌)を、一行文字数、行数ももとのままに、漢字は漢字に、仮名は仮名に翻字しなさい。
- 問七 問六で翻字した和歌を解釈しなさい。
- 問八 傍線部⑤「聞くゆへまほどもなく聞きつけてはべりしほどの」を現代語訳しなさい。
- 問九 「このついで」が収められている作品を答えなさい。

二〇三五年 大学院(修士課程) 入学試験問題

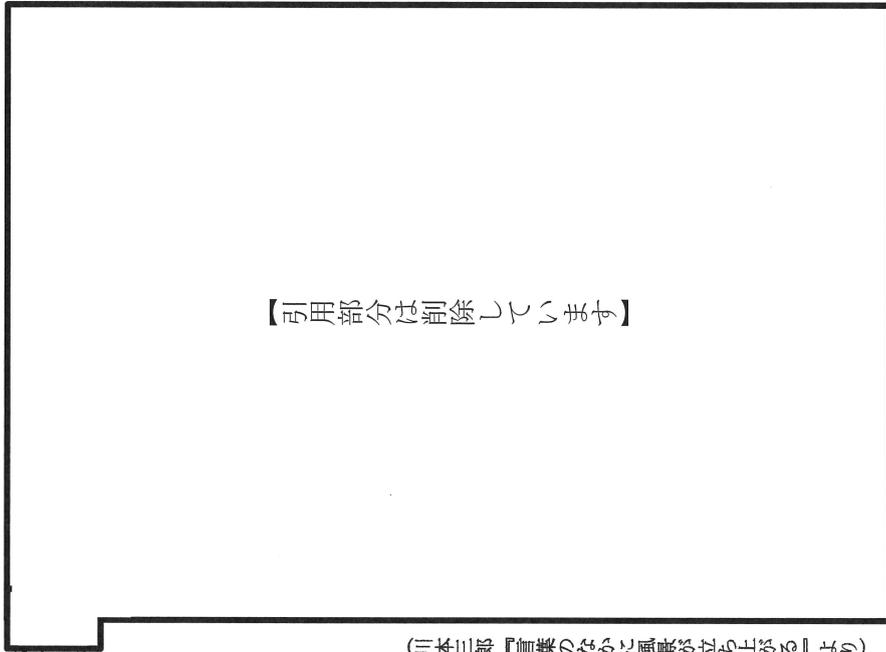
(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

2025年2月22日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【B】左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。



(川本三郎『言葉のなかに風景が立ち上がる』より)

- 問一 傍線部①「近代に入り、個が意識され」とありますが、このことを論じた夏目漱石の一九一五年の講演録のタイトルを記しなさい。また、その内容について知るところを述べなさい。
- 問二 傍線部②「風景の発見」について、明治二〇年代文学を手掛かりに論じた柄谷行人の著書のタイトルを記しなさい。また、その内容について知るところを述べなさい。
- 問三 傍線部③「国木田独步における雑木林」とありますが、独歩が雑木林を描いた一八九八年発表の作品のタイトルを記しなさい。また、その内容について知るところを述べなさい。
- 問四 傍線部④「荷風における路地や横丁」は例えば『濃重綺譚』に描かれていますが、この作品の内容について知るところを、できるだけ詳しく述べなさい。
- 問五 傍線部⑤「都市社会」は、一九二〇年代になると新感覚派やプロレタリア文学派の隆盛を生みますが、それぞれの流派に属する作家名と作品名を二つずつ(合計四つ)記しなさい。
- 問六 傍線部⑥「夏目漱石」の小説名を二つ挙げ、それぞれの内容について知るところを述べなさい。
- 問七 傍線部⑦「太宰治、あるいは坂口安吾」とありますが、第二次世界大戦後に彼らをはじめとする群の作家たちに与えられた名称を記しなさい。また、その流派に属する太宰・安吾以外の作家の名前と代表作を二つずつ記しなさい。

二〇三五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

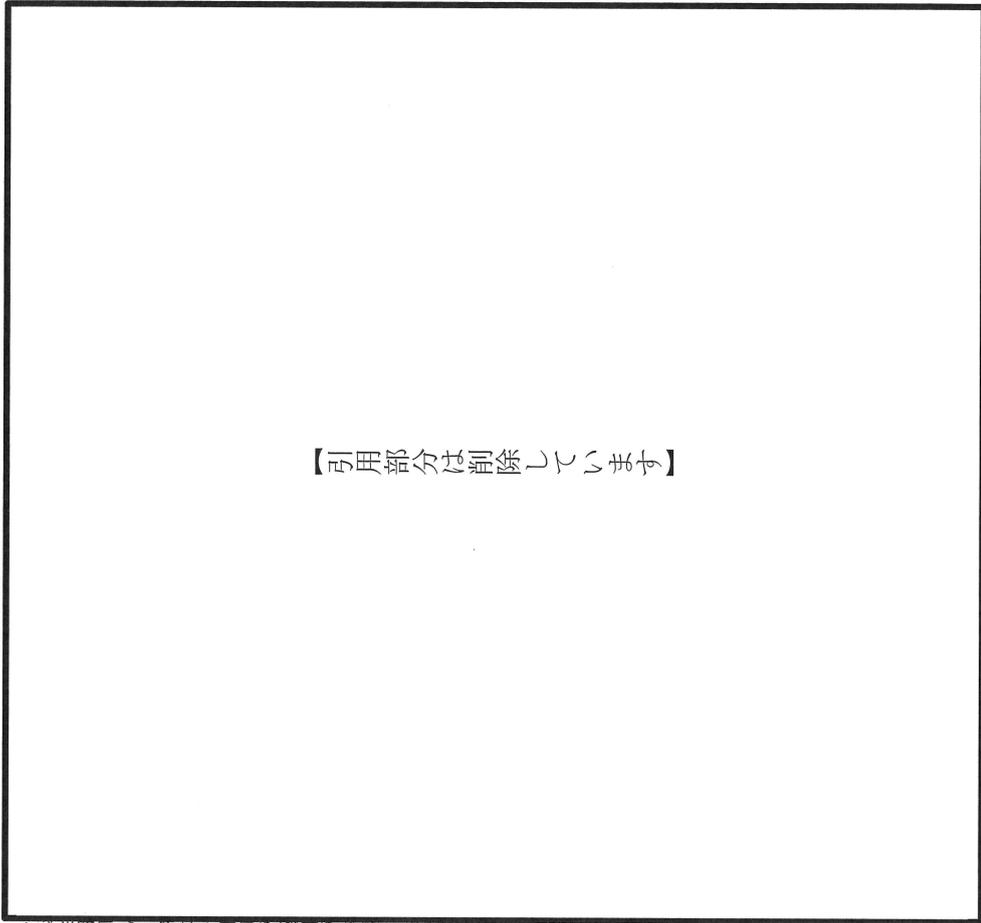
(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名: 専門科目)

2025年2月22日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

【C】 左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、原文の用字を改変した箇所があります。



【引用部分は削除しています】

(大和博幸『江戸期の広域出版流通』(新典社)による)

問一 傍線部①「寛政三(一七九二)年に被った筆禍」とありますが、この事件は、葛屋重三郎が刊行したある作者の著作四種が奉行所に摘発されたことに端を発します。その作者の名を記し、事件の経過について知るところを述べなさい。

問二 波線部 a ~ e の語のよみをひらがなで記しなさい。

問三 (A) には、葛屋重三郎が売り出した、特に大首絵の美人画でよく知られる絵師の名前が入ります。その名を記し、代表作の名称を一つ記しなさい。

二〇二五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名: 専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月22日(土)

問四 傍線部②「往来物」とありますが、この語のよみを記し、どのような内容の書物で、江戸時代の情報出版史上どのように位置づけることができるものか、自由に述べなさい。

問五 傍線部③「重板」とありますが、これについてなるべく簡潔に説明しなさい。

問六 傍線部④「国学」とありますが、萬屋重三郎は名古屋の本屋と提携関係を結びつつ、特に伊勢松坂在住のある著名な国学者の著作を江戸で売ることを考え、接近したことが明らかにされています。その国学者の名を記し、履歴などについて知るところを述べなさい。

問七 傍線部⑤「其巧思妙算、非他人所能及也」を書き下し、現代語訳しなさい。

二〇二五年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月22日(土)

【D】 次の各問に答えなさい。

問一 次の①、④の単音について、一般に日本語で用いられるものに相当する音価記号を書きなさい。

- ① 無声歯舌摩擦音 ② 有声軟口蓋閉鎖音 ③ 無声声門摩擦音 ④ 有声歯唇閉鎖音

問二 次の①、⑤の用語について、例を挙げて説明しなさい。

- ① 美化語 ② 接辞 ③ 混種語 ④ 母音の無声化 ⑤ モダリティ

問三 次の①、④について、説明しなさい。

- ① イント・ヨーロッパ語族の特徴
② 本居春庭の日本語学の業績
③ 方言圏論
④ 音素と相補分布

二〇二五年度 大学院(修士課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名 専門科目)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2025年2月22日(土)

「」左の①～⑧の中から三つの項目を選択し、それぞれについて論述しなさい。そのうち二つは、あなたの研究分野の項目をかならず選択しなさい。解答にあたっては、選択した項目の番号を冒頭に記しなさい。

- ① 【古典文学】 随筆文学
- ② 【古典文学】 歌論書
- ③ 【近代文学】 自然主義
- ④ 【近代文学】 谷崎潤一郎
- ⑤ 【情報出版学】 八文字屋本
- ⑥ 【情報出版学】 人形浄瑠璃の時代物
- ⑦ 【日本語学】 近代の国語国字問題
- ⑧ 【日本語学】 「ら抜きことば」と「可能動詞」の関係